

家畜衛生だより

令和7年4月15日 No.6
庄内家畜保健衛生所
庄内地区家畜畜産物衛生指導協会
TEL 0235(68)2151
FAX 0235(66)2466

熊本県で

馬インフルエンザ発生

17年ぶり!

4月8日、熊本県内の馬飼養農場において、国内では2008年
以来17年ぶりとなる馬インフルエンザの発生が確認されました。

【発生概況と熊本県の対応】

- 熊本県の馬（重種馬）飼養農場3戸
- 感染馬の隔離、飼養馬の移動自粛、ワクチン接種指導施設の消毒等を実施。

【馬インフルエンザについて】

宿主：馬（人や他の動物への感染はありません）

症状：40℃前後の発熱、元気・食欲の消失、乾いた咳、鼻汁など

感染経路：感染馬からの咳による飛沫感染

有効な消毒：一般的な消毒薬（逆性石けんなど）が有効です

直近の流行：2007年8月～2008年7月の流行では、33都道府県で
2,512頭の届出

その他：ワクチン接種*による予防が奨励されています

※馬インフルエンザワクチン接種への助成制度があります。（同封のパンフレット参照）
詳しくは庄内地区家畜畜産物衛生指導協会へお問い合わせください。

- ◆人・物を介した衛生管理区域、畜舎内への病原体持ち込み防止を徹底しましょう。
特に畜舎に入る際の専用長靴の着用、手指消毒または手袋交換を徹底しましょう。
消毒については、適切な濃度で使用し、踏み込み消毒槽の消毒液交換は、汚れた場
合だけでなく、1日1回は交換しましょう。
- ◆毎日の健康観察、早期発見及び早期通報を徹底しましょう。本病が疑われる場合は
他の馬との接触を避けて飼養しましょう。

家畜に異常が見られた場合は速やかに連絡をお願いします！

庄内家畜保健衛生所 0235-68-2151

（夜間・休日は携帯に転送されます）